

新春のお慶びを 申し上げます



三島市長

豊岡 武士

元気・安心・希望あふれる三島へ
さらに前進

市民の皆さまにおかれましては、お健やかに夢と希望に満ちた新しい年を迎えられ、ご同慶に存じます。

この度、皆さまの温かいご支援を賜り、2期目の三島市政を担わせていただくこととなりました。誠に光栄に存じますとともに、改めてその職責の重大さに身の引き締まる思いです。いただいた信頼と期待をしっかりと受け止め、市民の皆さまの幸せとふるさと三島の限りない発展のため、誠心誠意全力を尽くす所存です。

本年は、この4年間で培った地域の絆や市民力、そして誇れる地域資源を活かして更なる成長に導くスタートの年と考えます。皆さまが主役となり、人と人との絆をより大切に、一層美しく品格があり人もまちも産業までもが^{けんこう}健康で、心から愛着と誇りを持てるまちづくりのため、平成27年度の予算編成にあたり3本の柱を主要施策に掲げ、その実現に取り組みます。

第1は「にぎわいある美しさ溢れるガーデンシティの推進と活力みなぎる産業の振興」です。推進組織の取り組みを支援し、美しく品格のあるまちづくりを進め、歴史などの地域資源を活かし観光都市としての価値を高め、誰もが訪れたくなる街、住みたくなる街を目指します。

また、内陸のフロンティアを拓く取組により企業誘致や新産業創出などを進め、活力みなぎる街を目指します。

第2は「人もまちも産業も健幸を実感できるスマートウエルネスみしまの推進と未来に繋がる教育・文化の充実」です。協働による健幸マイレージの普及など生涯を通じた健康づくり活動の推進に加え、オリンピックを見据えたスポーツ産業の振興、選手の発掘育成に取り組みます。また、学校教育の更なる充実に向け、学習環境の整備を進めるとともに、多様な文化を育む活動や生涯学習と社会教育活動の一層の支援を図ります。

第3は「コミュニティの絆で支える福祉の充実と更に安全・安心な暮らしを守る災害に強いまちづくり」です。地域交流の場と機会を充実し、ご近所力を高める仕組みづくりを進めます。また、幸いにも今夏には三島総合病院に周産期医療施設も完成しますので、妊娠、出産から子育てまでの、切れ目のない支援体制を強化します。さらに、高齢者福祉、障がい者支援を着実に進めるほか、自助と共助による自主防災体制の確立に引き続き取り組みます。

結びに、皆さまの益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



三島市議会議長

土屋 俊博



信頼され、親しまれる市議会を目指して

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から議会活動に深いご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨今の経済情勢の先行きは未だ不透明であり、消費税10%への引き上げ時期も1年半後の平成29年4月へ先送りとなりました。また、少子高齢化の進展などによる社会保障経費の増大は待たなしの状況であり、三島市としても厳しい財政運営が続くものと推測されます。

このような中、地方分権が進み、基礎的自治体として市の主体性が強まるのに伴い、市議会に求められる役割や責務もより重要性を増しています。そこで、市政の監視や市民の皆さまの声を反映し、より良い三島市を築く活動はもとより、時代に対応した議会機能の充実、議会運営の効率化を図るため、議会みずからこれまで以上の改革に取り組んでいるところです。

中でも議員定数については、人口減少や財政緊縮、職員削減などを勘案して、今改選期から現行の定数を2人減した22人とすることを既に決定しています。さ

らに、議員発議により議会が議決すべき事案を追加する条例の制定や、常任委員会活性化などの改革にも取り組んでいるところです。

また、議会の活動状況などを市民の皆さまに直接お伝えし、その場で意見交換を行うために、平成23年度から継続して議会報告会を開催しています。昨年は女性やサラリーマンの方にも参加しやすいように、託児付の会場設定や、土・日曜日の開催などを工夫して実施し、市議会や市政に対する貴重なご意見やご要望をいただいたところです。

今後も、議会情報の提供などに努め、開かれた議会を目指してまいりますので、市民の皆さまにおかれましては、議場での傍聴のほか、市ホームページでインターネットによる中継などをご覧いただき、議会になお一層のご関心とご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

年頭にあたり、市民の皆さまの御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。